

平成28(2016)年度社会福祉法人あかつき福社会
事業報告書

社会福祉法人あかつき福社会

2016 4月



入所式

5月



所外活動 <わんすてっぶ>

6月



オープンワークデー <あかつき園・ワークセンター>

7月



企業見学 <ささゆり園>



バスツアー <グループホーム>



スイカ割り <ショートステイ室>

8月



納涼祭



流しそうめん大会 <ささゆり園>

9月



避難訓練

10月



宿泊旅行 <ささゆり園>



いきいきふれあい広場

11月



所外活動 <あかつき園・ワークセンター>

2017 2月



鍋パーティ <あかつき園・ワークセンター>

3月



みのおつながるフェア



コンサート <あかつき園・ワークセンター>

1. 平成28(2016)年度全体概要報告

(1) 社会福祉法人制度見直しへの対応【法人本部(総務課)】

社会福祉法改正に伴う新たな経営組織のあり方、定款ほか各種規程・要綱の作成・見直し等の対応について理事会・評議員会でも検討を重ね、平成29年度以降の新体制を策定した。

(2) 正規職員2名の採用【法人本部(総務課)】

平成27年度末に策定した「職員採用に関する今後の取り組み方針」に基づき、正規職員採用に向けてインターネット媒体の活用、就職フェアや就職説明会への出展、大学訪問などの取り組みを行い、2回の採用試験で正規職員2名を採用した。

(3) 宿泊旅行・日帰り旅行の実施

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

利用者・家族の強い要望から継続実施している宿泊旅行に関し、平成28年度は「普通の旅行」をめざし、初めて公共の宿等ではない淡路島・温泉旅館に宿泊する旅行を実施した。また、宿泊旅行以外のグループには、土曜日に帰り時刻・送迎に縛られない長時間の日帰り旅行(京都水族館、琵琶湖クルーズ)を実施した。

(4) グループホームの入居者受け入れ【地域生活総合支援センター】

平成28年4月、第10つながりの家に新規利用者を受け入れ、全グループホーム(9カ所)で定員に達した。

(5) 移動支援の拡大【地域生活総合支援センター】

グループホーム利用者の土日利用の増加に伴い、余暇支援の充実を図るため移動支援の利用を促進したことなどから、派遣時間が前年度比約800時間、大幅に増加した。

【平成28(2016)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり〈指定管理〉

- 【実施事業】①生活介護事業 定員70名
②就労継続支援B型事業 定員10名

3. わんすてっぷ

- 【実施事業】生活介護事業 定員15名

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈指定管理(⑤を除く)〉

- 【実施事業】①園管理運営事業
②生活介護事業 定員20名
③日中一時支援事業(放課後教室)
④施設入浴サービス事業
⑤社会福祉増進事業

5. 地域生活総合支援センター

- 【実施事業】①共同生活援助事業
(第2つながりの家)
②短期入所・日中一時支援事業
(箕面市障害者ショートステイ室)
③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業
(ヘルパーステーション「ウイズ」)
④相談支援事業
(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 社会福祉法改正に伴う新たな経営組織、定款ほか各種規程・要綱の作成・見直し等の対応について検討を重ね、平成29年度以降の新体制を策定した。
- 監査法人による定期的な「自主監査」（大阪府社会福祉協議会実施事業）の受審も3年度目を迎え、監査で指摘を受けた事項について随時改善を行った。
- 平成27年度末に策定した「職員採用に関する今後の取り組み方針」に基づく職員採用の取り組みを進め、過去2年度採用試験を実施したが採用に至らなかった正規職員2名をはじめ、支援職員5名・臨時職員4名を採用した。
- 人材育成プロジェクトチームも発足から3年度目を迎え、平成28年度も計11回の会議を開催して「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく取り組みの進捗管理とともに、各取り組みの改善を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	社会福祉法人制度見直しへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ○研修参加によって情報収集を行った。 ○社会福祉法改正に伴う新たな経営組織のあり方、定款ほか各種規程・要綱の作成・見直し等の対応について理事会・評議員会でも検討を重ね、平成29年度以降の新体制を策定し調整を行った。（平成29年度以降の経営組織は、理事会/評議員会/評議員選任・解任委員会/運営協議会の構成とする）
2	新会計基準に基づく適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> ○新会計基準に基づく運用を引き続き行い、不明点は監査法人、顧問税理士に相談しながら運用を行った。 ○社会福祉法改正に伴う経理規程の見直しを行った。
3	会計事務チェック体制の継続	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26・27年度に引き続き、監査法人による「自主監査」（府社協実施事業）を受審した。 ○定期的に、税理士事務所による日常的な経理事務処理に関するチェックを受けた。
4	あかつき園建替計画の協議・対応	<ul style="list-style-type: none"> ○箕面市において計画案づくりが進められているが、平成28年度中に具体案の提示まで至らなかったため、具体的な協議等は実施出来なかった。
5	新長期計画の実行	<ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクトチーム会議が1回に止まり、進捗管理は不十分な状況であった。
6	人員確保	<ul style="list-style-type: none"> ○府社協就職フェアに2回、ハローワーク就職説明会に1回の出展を行った。 ○「職員採用に関する今後の取り組み方針」に基づき、インターネット媒体等を活用した正規職員採用を進め、正規職員2名を採用した。 ○欠員補充のため支援職員5名、臨時職員4名を採用したが、特に臨時職員の確保は難しい状況が継続した。

	計 画	実施結果
7	組織風土改善、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく取り組みを、年間通して実施した。 ○11回のプロジェクトチーム会議を実施し、取り組みの進捗管理、改善等を行った。
8	虐待防止・サービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ○虐待防止・サービス向上委員会を今年度2回開催し、虐待防止、サービス向上に向けた取り組みの検討を行った。 ○虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを2回実施し、日頃の支援の振り返りを行った。 ○大阪手をつなぐ育成会支援センターい〜なの原田和明氏を講師に招いた「罪を犯した障がい者の支援と課題」（平成28年度人権研修）を実施した。

(3) 今後について

- 社会福祉法改正に伴って変更した体制・ルールのもとで、円滑な法人運営を行っていく。
- 引き続き「職員採用に関する今後の取り組み方針」に基づく正規職員採用等の取り組みを進め、職員の安定的な確保を図っていく。

(4) 理事会・評議員会開催状況

理 事 会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成28年 4月 1日 案件 = 理事長選任 など ・第2回 平成28年 5月30日 案件 = 平成27(2015)年度決算 など ・第3回 平成28年10月28日 案件 = 平成28(2016)年度補正予算(第2号) など ・第4回 平成28年 2月10日 案件 = 定款変更 など ・第5回 平成29年 3月30日 案件 = 平成29(2017)年度事業計画及び予算 など
評 議 員 会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成28年 5月27日 案件 = 平成27(2015)年度決算 など ・第2回 平成28年10月26日 案件 = 平成28(2016)年度補正予算(第2号) など ・第3回 平成29年 2月 8日 案件 = 定款変更 など ・第4回 平成29年 3月29日 案件 = 平成29(2017)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- ごみ袋の製造及び配送作業の箕面市内他事業所とのシェアを、引き続き実施した。
- 新規利用者1名について、家族と情報共有を図りながら円滑な受け入れを行った。
- 保護者会に必要な情報提供を行うとともに、給食試食会やチーム別懇談会を開催し、家族との情報共有等を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	製袋作業シェアの円滑実施	○引き続き箕面市内他作業所と連携して、ごみ袋の製造及び配送作業のシェアを実施し、製造作業は447万枚、配送作業は4万枚をシェアして実施した。
2	新規利用者の円滑な受け入れ	○新規利用者1名について、随時、利用者状況や支援方法等について家族と情報共有を図りながら、円滑な受け入れを行った。
3	虐待防止・再発防止の取り組み	○虐待防止や不適切支援の防止について取り上げた虐待防止研修を実施した。また、虐待リスクが高い支援についてチーム会議等で取り上げ、チーム内での検討・共有を行った。 ○平成27年度作成の再発防止策に基づき、虐待防止セルフチェックの実施、運転手職員・添乗職員との面談等を実施した。
4	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	○箕面市障害者事業団において4名の利用者が延べ37日間実習を行った。 ○自力通所の経過確認・モニタリングを適時行った。 ○視覚支援の活用を拡充し、自立的に作業できる場面の拡充や支援方法の確立に取り組んだ。
5	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、施設サポートサービス結果を踏まえた対応	○社会福祉士科(通信)学生の相談援助実習を1名延べ20日間受け入れた。 ○保護者会の意向を受けて必要な情報提供を行うとともに、給食試食会やチーム別懇談会を開催し、家族との情報共有等を行った。 ○階層別研修計画に基づき、外部研修の受講者には、研修内容の活かし方を具体的に考える機会として研修成果を報告する機会を設けた。また、研修履歴や育成経過の記録化を図り、今後の育成計画に繋げる仕組みづくりを行った。 ○法人理念浸透の取り組みについて、継続的に取り組める仕組みづくりを行った。

(3) 今後について

- 引き続きごみ袋の製造及び配送作業のシェアを、関係団体と調整しながら円滑に実施していく。
- 工賃拡大に向けて、新たな作業種の開拓などを検討していく。
- 研修等を通じて、作業支援に携わる職員のスキルアップに取り組むとともに、利用者に応じた支援を行っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成27年度	平成28年度
箕面市指定ごみ袋の生産	87,024,561円	88,810,543円
館内清掃	-	100,000円
計	87,024,561円	88,910,543円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

	平成27年度	平成28年度	前年度比
就労継続支援B型	48,038円	10,042円	20.9%

②施設外支援

実習先	参加人数(実数)	参加延べ日数	職種
箕面市障害者事業団	4名	37日	緑化部門(花壇管理等)/3名・27日 喫茶/1名・10日

③その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス、栄養教室、体重測定等）
- 生産活動（館内・館外清掃等）
- 創作活動（手芸、描画等）
- 社会活動（買い物、公共交通機関の利用、所外活動等）

(5) 在籍者状況（平成29年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成28年度	10名	26.4才	8.4年	91.8%	9.6人
平成27年度	10名	27.5才	7.5年	94.9%	9.5人

平成28年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	不明
	0名	1名	5名	3名	0名	0名	1名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <生活介護事業>

(1) 概要

- 新規利用者4名を受け入れるにあたり、事前の受入準備・シミュレーションに基づき家族との情報共有等を随時図り、円滑な受け入れを行った。
- 保護者会に必要な情報提供を行うとともに、給食試食会やチーム別懇談会を開催して、家族との情報共有等を行った。
- 平成27年度作成の再発防止策に基づく虐待防止の取り組みを継続実施した。
- 月1回を目安に研修会や外部研修報告会を開催し、利用者支援や業務遂行に係る情報提供・共有を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	○利用率は前年度比微減(93.0%→92.5%)であった。 ○欠席等が続く場合は、ケース担当者が電話にて様子を伺うなどきめ細やかな支援に努め、欠席時対応加算は239回算定した(前年度235回)。
2	新規利用者の円滑な受け入れ	○新卒者4名の新規受け入れを行った。事前の受入準備・シミュレーションに基づき、随時、利用者状況や支援方法等について家族と情報共有を図りながら、円滑な受け入れを行った。
3	虐待防止・再発防止の取り組み	○平成27年度作成の再発防止策に基づき、虐待防止セルフチェックの実施、運転手職員・添乗職員との面談等を実施した。 ○虐待防止や不適切支援の防止についても取り上げた虐待防止研修を実施した。また、虐待のリスクが高い支援についてチーム会議等で取り上げ、チーム内で検討・共有を行った。
4	指定管理者アンケート、大阪府社会福祉協議会福祉サービス第三者評価、大阪社会福祉士会施設サポートサービス結果を踏まえた対応	○介護福祉科学生の介護実習、教員免許取得のための介護等体験実習を7名延べ36日受け入れた。 ○保護者会の意向を受けて必要な情報提供を行うとともに、給食試食会やチーム別懇談会を開催し、家族との情報共有等を行った。 ○階層別研修計画に基づき、外部研修の受講者には、研修内容の活かし方を具体的に考える機会として、研修成果を報告する機会を設けた。研修履歴や育成経過の記録化を図り、今後の育成計画に繋げる仕組みづくりを行った。 ○法人理念浸透の取り組みについて、継続的に取り組める仕組みづくりを行った。
5	介護技術の標準化への対応	○支援マニュアルの作成・更新を進めるとともに、職員が効率的に動き、丁寧な介護を行えるよう1日の個別スケジュールを作成し、いつ・誰に・どのような介護が必要かの「見える化」に取り組んだ。

計 画		実施結果
6	人員確保・育成	<p>○ブログ更新回数を増やすことで、ブログ閲覧を通じた3名の採用応募に繋がった。しかし、依然として臨時職員の欠員状態は継続した。</p> <p>○月1回を目安に研修会や外部研修報告会を開催し、利用者支援や業務遂行に係る情報提供・共有を行った。</p>

(3) 今後について

- 虐待の芽の早期発見に努め、虐待・不適切支援の防止に引き続き取り組んでいく。
- 発達障害等、特段の支援を要する利用者及び利用者の相互関係に配慮したチーム編成と支援体制を引き続き検討・検証していく。
- 利用者が取り組むことができる作業種の開拓などを検討していく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成27年度	平成28年度
箕面市指定ごみ袋の生産	7,200,000円	4,800,000円
さをり製品等製造販売	114,021円	204,497円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	182,894円	144,508円
農園芸	793,632円	795,516円
館内清掃	—	400,000円
計	8,290,547円	6,344,521円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃(特別工賃を含んで換算)

平成27年度	平成28年度	対前年度比
8,754円	2,711円	31.0%

②その他の活動

- 健康活動(機能維持訓練、ダンス、プール、ウォーキング等)
- 生産活動(館内・館外清掃等)
- 日常生活・社会適応訓練(図書館利用、買い物実習、調理実習、喫茶店、外食等)
- 創作活動(絵画、貼り絵、手芸、書道等)
- 文化活動(DVD鑑賞、音楽鑑賞、音楽活動、ハンドベル等)
- 社会活動(地域清掃、古切手の切り取り等)

(5) 在籍者状況 (平成29年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
平成28年度	66名	28.1歳	9.3年	92.5%	63.4名	
平成27年度	66名	27.7歳	9.1年	93.0%	62.1名	
平成28年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	33名	21名	10名	2名	0名	0名

4. わんすてっぷ<生活介護事業>

(1) 概要

- 利用者の障害程度が年々重度化しており、障害支援区分5・6の利用者が契約利用者数のうち62.5%となった。
- 引き続き利用者の安定的な利用に努め、前年度(15.2人/日)より微減ではあったが平均利用人数は14.9人/日であった。介護給付費収入は、利用者の障害支援区分が上がったこともあり、前年度比約380万円の増収であった。
- 個々の障害特性に応じた支援を要する状況に対して、可能な限りの対応を行ってきたが、限られた施設環境や職員の確保等の問題もあって、十分な対応が取れないケースもあった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	法人独自事業としての安定経営	○利用者の状況把握・対応に努め、平均利用人数は14.9人/日と安定的な利用に繋がった。 ○利用者の障害支援区分が上がったことで、介護給付費収入は前年度比約380万円の増収となった。 ○わんすてっぷ再整備に係る検討については、職員の欠員が継続し現場対応を優先したため、具体的な進捗には至らなかった。
2	利用者・家族の高齢化への対応	○関係者・相談支援機関などと連携して、恒常的なグループホーム利用への変更、長期の短期入所室利用、グループホームの体験利用、利用日の一部を介護保険事業へ変更するなどの対応を行った。
3	サービスの質的向上	○個別支援計画書について、虐待防止の観点も含んだ内容に見直しを行った。 ○困難事例に対して複数職員での対応を実施した。なお、困難事例に対する外部助言者への相談、手順書の作成・活用を行ったが、大きな効果には繋がらなかった。 ○外出活動について、目的を明確にして目的に合った利用者構成での実施を行った。
4	人員確保・育成	○生活支援員の十分な確保には至らず、他部門からの応援を得ながら対応を行った。

(3) 今後について

- 困難事例に対して、複数職員による対応等の支援策を検討していく。
- 利用者の高齢化への対応として、介護保険サービス対象年齢者の介護保険サービス利用の検討を進めていく。
- 利用者ニーズに基づいた他事業者サービスとの併用利用など、柔軟なサービス利用を推進していく。
- 職員従事体制を整備し、異動配置の職員にはOJTによる指導等によって育成に努めていく。
- 現状の課題や対象利用者についての整理を行い、拡大移転等の整備策を検討・立案していく。

(4) 主な活動内容

- ① 創作活動（手芸、ビーズ、クロスステッチ、折り紙、塗り絵、絵画等）
- ② 文化活動（買い物、音楽鑑賞、ドリル学習、カラオケ、Wiiゲーム等）
- ③ 健康活動（ストレッチ、ウォーキング、手浴・足浴、爪切り等）
- ④ 専門職による指導（機能維持訓練、嘱託医による相談、ダンス指導等）
- ⑤ 所外活動（万博記念公園、エキスポシティ、イオン等）
- ⑥ イベント（流しそうめん、かき氷、クリスマス、節分等）
- ⑦ 生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成27年度	平成28年度	対前年度比
さをり製品等の制作・販売	960円	3,260円	339.6%
チラシ配布委託業務	64,862円	55,601円	85.7%
計	65,822円	58,861円	89.4%

イ) 利用者1人あたりの年額平均工賃

平成27年度	平成28年度	対前年度比
3,841円	3,671円	95.6%

(5) 在籍者状況（平成29年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成28年度	16名	50.4歳	12.0年	99.4%	14.9名
平成27年度	17名	48.7歳	10.8年	101.0%	15.2名

平成28年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	2名	8名	5名	1名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈園管理運営事業〉

(1) 概要

- 障害者等への理解を深める啓発事業として、3月10日、相模原市の障害者支援施設で発生した事件を取り上げ、基調講演に特定非営利活動法人おおさか地域生活支援ネットワークの北野理事長、パネルディスカッションに有限会社しえあーどの中野国本取締役・社会福祉法人西宮市社会福祉協議会の清水常務理事を招き、障害者問題市民講座を開催した。
- 箕面保育園の園児17名及び園長、保育士3名の計21名を招き、生活介護事業の利用者とともにもちつき会を実施した。また、障害やバリアフリー等について考える機会として、リフト車両や機械入浴等を見学してもらった。
- 新たに箕面市及び箕面市社会福祉協議会との共催事業として、要約筆記講習会を延べ8回実施し、受講者3名が修了した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	既存8事業見直し協議・対応	○茶道・華道教室利用者の固定化傾向、営利活動団体の利用基準、駐車スペース等、具体的な解決までには至らなかった。 (駐車スペースについて障害者団体から身体障害者専用駐車場の設置を求める声があり、優先度の高い課題となっている)
2	施設利用基準のあり方を検討・協議	
3	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○昨年7月に神奈川県相模原市の障害者支援施設において、19人の尊い命が奪われた事件の発生から半年以上が経過し、事件を風化させないため、背景や深層を探り重い障害のある市民が地域で生きることを問い直す目的で、3月10日午後6時30分から平成28年度「地域で生きる」障害者問題市民講座を開催した。(参加者数55名) ○基調講演では、北野氏より豊富な資料・データから事件の背景・問題点を探り、差別解消法の意義、権利擁護・意思確認支援の重要性についての話があった。「事件の深層は、人々の心(無理解、偏見、差別心)の中にある」との話には、アンケートでも多くの共感の声があった。 ○パネルディスカッションでは、医療的ケアを含む重い障害のある方たちを地域で支え、長年にわたり実践している中野国本氏、清水氏より実践報告をいただいた。重い障害のある方たちが地域に存在したからこそ、本人中心の質の高い支援ネットワークや地域医療システムが構築できた事実、また「障害者」ではなく「人」として生きることの大切さ等の話があった。

(3) 今後について

- 全事業の実施内容・効果を検証し、事業移行または事業の廃止を含めて箕面市と継続協議を行っていく。身体障害者専用駐車場の設置については早急に検討する必要がある。
- 「地域で生きる」障害者問題市民講座は、広報・事前宣伝の充実、実施内容・開催時期等を検討し、次年度も継続実施していく。合わせて、地域の保育園等とのイベントを通じた交流も継続していく。
- 要約筆記講習会は、手話講習会と比較して市民への浸透度、認知度がまだ低いため、事前の広報・啓発を充実させ受講者拡大に取り組んでいく。

(4) ささゆり園利用状況

	平成27年度	平成28年度	対前年度比
開館日数	322日	321日	99.7%
利用件数	1,863件	1,877件	100.8%
利用件数/1日	5.8件	5.8件	100.0%
利用者数	26,455名	26,816名	101.4%
利用者数/1件	14.2名	14.3名	100.7%
利用者数/1日	82.2名	83.5名	101.6%

事業名	平成27年度		平成28年度		対前年度比 (人数比)
	件数	人数	件数	人数	
障害者社会参加促進事業	41	315	42	357	113.3%
[内訳]					
①茶道教室	20	151	20	195	129.1%
②華道教室	21	164	22	162	98.8%
ボランティア育成事業	45	544	56	760	139.7%
[内訳]					
①手話講習会「入門・基礎編」 <27年度：基礎課程>	35	506	35	498	98.4%
②中級音訳講習会<27年度：初級>	10	38	13	85	223.7%
③要約筆記講習会<27年度：未実施>	-	-	8	177	
啓発事業（市民講座<平成26年度は映画会>）	1	36	1	55	152.8%
貸館事業	1,776	25,560	1,778	25,644	100.3%
[内訳]					
①障害者団体	625	11,551	729	12,567	108.8%
②ボランティアサークル	547	7,299	546	7,558	103.5%
③外郭・行政関係	282	4,527	212	3,453	76.3%
④その他	281	2,137	265	2,030	95.0%
⑤IT室	41	46	26	36	78.3%
合 計	1,863	26,455	1,877	26,816	101.4%

※会議室等使用団体数(平成29年3月31日現在)

- ・ 定期利用団体：38団体（対前年度比±0）
- ・ 随時利用団体：30団体（対前年度比3増）
- 【合計】68団体（対前年度比3増）

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈生活介護事業〉

(1) 概要

- 平成28年度利用契約者数22名のうち、前年度週3回の利用者1名が今年度より週4日利用に変更されたものの、長期療養中であった利用者1名が平成29年2月に逝去されたため、最終的な契約者数は前年度比1名減の21名となった。また、入院加療の利用者が続く状況(肺炎・腸閉塞、腎機能低下等)と合わせて、平均利用人数は16.1名/日(前年度:16.7人/日)となり、介護給付費収入は前年度比約130万円の減収となった。
- 医療的ケア(新たな特定行為)の増加、高齢化、嚥下機能低下による誤嚥性肺炎等、欠席や入院に係る利用予測は極めて困難な状況で、経営的に厳しい状況が続いている。
- 利用者・家族の強い要望から継続実施している宿泊旅行について、平成28年度は「普通の旅行」をめざし、初めて公共の宿等ではない淡路島・温泉旅館に宿泊する旅行を実施した。また、宿泊旅行以外のグループには、土曜日に帰り時刻・送迎に縛られない長時間の日帰り旅行(京都水族館、琵琶湖クルーズ)を実施した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	介護給付費収入の安定的確保	○家族・医師との連携強化(拡大ケース会議の開催等)に取り組んだ。しかし、病状の進行、障害の重症化に伴う長期入院等に伴い、介護給付費収入の安定的確保には至らなかった。
2	多様な活動支援の検討・実施	○多様な活動支援として、3グループ毎に宿泊旅行、日帰り旅行を企画・実施した。活動の多様化に伴い、宿泊・日帰り旅行の収支は黒字となった。
3	入浴支援体制の見直し	○午前集中型入浴の支援体制を試みたが、他プログラムとの兼ね合い、スタッフの配置バランスから従来の体制に変更した。
4	介護職による喀痰吸引等の実施	○新たに実地研修を実施し、延べ17名・53行為の介護職による特定行為が実施可能となった。
5	重度重複障害者の地域生活に係る調査研究	○以下の施設への調査研修を行った。 ・安倉西身体障害者支援センター(宝塚市) ・豊泉家チャレンジドセンター箕面(箕面市) ・くらしの支援センターみんなのき(吹田市) ○情報収集として①豊中市立たちばな園の指定管理説明会へ参加、②医療的ケア関連研修に計5回参加し、関係者との情報交換・交流を行った。
6	医療的ケアが必要な利用者の地域生活支援検討	○前年度に引き続き、地域生活総合支援センターと協働して医療的ケア対応の試行的ショートステイを対象者2名に対し、各1泊2日で実施した。
7	指定管理アンケート結果を踏まえた対応	○アンケート結果を踏まえ以下のとおり対応した。 ・給食の洋食増:メニューの見直し ・外出機会の増:上記「2」のとおり ・医療的ケア対応ショートステイ:上記「6」のとおり ・宿泊旅行継続:上記「2」のとおり
8	人員確保	○所属長・職員との個別懇談を実施し、風通しの良い職場風土づくりに取り組み、職員の退職が1名もなく、安定的な支援体制を維持できた。

	計 画	実施結果
9	介護技術の標準化への対応	○機能訓練マニュアルの作成には至らなかった。 ○個別の医療的ケア・処置マニュアルを一部作成した。
10	地域への情報発信、交流	○ブログの作成(計20回)や機関紙の作成・配布を行った。小学校等との交流時には機関誌を活用した。 ○箕面市立第2中学校吹奏楽部によるコンサートを開催し、交流を行った。

(3) 今後について

- 引き続き、医療的ケアを必要とする利用者へ安定的なサービスの提供を行っていく（介護職の喀痰吸引等実地研修を実施し対応可能な介護職の増を図る、医療的ケア手順マニュアル作成の実施等）。
- 医療的ケアを必要とする方への試行的ショートステイを継続実施していく。
- 先駆的取り組みを行う他地域の法人等への調査研究（地域生活支援拠点他）を行っていく。
- 多様な活動支援（宿泊・日帰り旅行の実施）を継続実施していく。
- 箕面市立病院感染症対策チームと連携した感染症等防止研修を実施していく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動（バイタルチェック、ストレッチ、手浴・足浴等）
- ②機能訓練（作業療法士による訓練指導（2回/月）、エクササイズ等）
- ③創作活動（さをり織り、組紐、クリスマス創作、紙すき、フェルト工作等）
- ④園外活動（買い物、柚収穫体験、花見、ドライブ、大学学園祭等）
- ⑤音楽活動（音楽鑑賞、カラオケ、ウクレレ演奏、カノンコンサート等）
- ⑥ゲーム活動（サイコロゲーム、人生ゲーム、オセロ、紙相撲、TVゲーム等）
- ⑦イベント（バーベキュー大会、宿泊旅行、全体ゲーム、年度末イベント等）

(5) 医療的ケア実施状況

内 容		人数
たんの吸引	口腔内	7名
	鼻腔内	2名
	気管カニューレ内部	4名
経管栄養	胃ろう	3名
	腸ろう	1名
	経鼻経管栄養	2名
胃ろう、腸ろうによる与薬		4名
ブジー		1名
合 計（延べ人数）		24名

(6) 在籍者状況（平成29年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成28年度	21名	42.2歳	9.4年	85.1%	16.1名
平成27年度	22名	40.8歳	8.0年	83.9%	16.7名

平成28年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	17名	4名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<日中一時支援事業>

(1) 概要

- 平成28年度末時点で、箕面市内に20カ所、豊中市38カ所、吹田市35カ所、茨木市31カ所、池田市11カ所など近隣他市でも新規事業所が設立されており、また利用者数減少に伴う箕面市と今後の事業のあり方に関する継続協議を行い、平成28年度より週3日から週2日に変更・営業を行った。
- 引き続き他事業所と連携を図りながら、利用の公平性、利用者・家庭状況等に配慮した曜日の設定を行った。また活動内容について、各曜日のサービスの均一化を図った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	事業の方向性を協議	○平成28年10月以降、箕面市と継続協議を実施した。 ○平成29年度の事業のあり方に関する箕面市の判断が遅れ、年度末に平成29年度事業実施体制づくりの対応に追われた。
2	社会適応訓練の実施	○新規該当者がなく、実施しなかった。
3	専門職との連携	○自閉症等の障害特性について、支援アドバイザーに助言、指導を仰いだ。 ○利用者全員が他事業所を併用しているため、適宜利用者の情報収集を行った。

(3) 今後について

- 平成29年度は契約者数が更に減少して6名となる予定であり、平成30年度に向けて、事業移行または事業の廃止を含め箕面市と継続協議を行っていく。
- 引き続き発達障害等への対応に関し、支援アドバイザーの助言を受けながら、個別の課題に応じた支援の在り方について実践・検証を行っていく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動（散歩、プール、エアマット等）
- ②調理実習（スウィートポテト、ホットケーキ等）
- ③創作活動（市民展作品作成、コットンスティックアート等）
- ④農園活動（野菜栽培、サツマイモの収穫、草花栽培等）
- ⑤園外活動（図書館、インスタントラーメン発明記念館、エキスポシティ等）

(5) 在籍者状況（平成29年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成28年度	7名	16.5歳	3.8年	59.9%	3.8名
平成27年度	11名	16.2歳	3.1年	65.8%	3.7名

平成28年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	0名	4名	3名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈施設入浴サービス事業〉

(1) 概要

- 今後の事業の方向性やハード面の課題等について、箕面市に報告・協議を行った。
- 引き続き、実施時間帯(平日夕方)・従事時間(1日2時間程度)の関係から、従事者(登録ヘルパー〈男性〉)の確保が困難な状況にあり、不足分は生活介護の職員で対応した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	事業の方向性を協議	○在宅入浴支援の充実等について箕面市と共通認識を保持しつつ、導入後10年以上が経過し老朽化する機械浴の更新等に関する施設営繕シートを提出した。
2	新規利用者の募集、確保	○基本的には在宅での入浴支援を勧め、利用相談があった際は、在宅での入浴支援に関する社会資源等の情報提供を適時行った。
3	サービスの質的向上	○女性・登録ヘルパーは、確保することができた。
4	人員確保と支援サービスの質的向上	○男性・登録ヘルパーについては、ブログの活用、ビラ配布等を実施したが、安定的な確保には至らず、生活介護の職員で対応した。

(3) 今後について

- 事業の実施内容・効果を検証し、事業のあり方について箕面市と継続協議していく(民間事業所によるサービス利用〈ホームヘルパー、訪問入浴〉の促進)。
- 機関誌・ビラ・ブログ等を活用しながら、引き続き男性・登録ヘルパーの確保に取り組んでいく。合わせて登録ヘルパーに依存しない従事体制についても検討を行っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	平成27年度	平成28年度	対前年度比
実施日数	243日	243日	100.0%
利用者数	631名	627名	99.4%
利用者数/1日	2.6名	2.6名	100.0%

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<その他>

(1) 社会福祉増進事業

法人自主事業として「社会福祉増進事業」を実施し、大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
(修了者数延べ25名、うちあかつき福祉会職員延べ24名)

(2) 医療的ケアを必要とする重度重複障害者市民への試行的ショートステイ事業

指定管理応募時の特定提案でもある医療的ケアを必要とする重度重複障害者市民への試行的ショートステイ事業について、地域生活総合支援センターと連携を図りながら以下のとおり実施した。

【実施概要】

- ・ 募集方法：ささゆり園生活介護利用者の対象者から希望者を募った。
(2名応募)
- ・ 実施日：第1回 平成29年3月16日(木)～17日(金)、1泊2日
第2回 平成29年3月23日(木)～24日(金)、1泊2日
- ・ 利用者：2名
- ・ 実施場所：箕面市障害者ショートステイ室
- ・ 実施体制：ささゆり園ケース担当者1名・看護師1名、地域生活総合支援センター職員1名 (合計3名)

【実施結果】

- ・ 宿泊中の医療的ケアに関しては、全て看護師が実施した(短期入所室が登録喀痰吸引等事業所ではないため、現状において介護職員では対応できなかった。今後、登録事業所申請が必要)。
- ・ 今まで取り組んできた夕方以降の支援や宿泊旅行等の実践、夜間支援ノウハウの蓄積等により、特段問題なく円滑に試行的ショートステイを実施することが出来た。
- ・ 今後の経常的实施に向けて、①特定行為実施可能な介護職員を増やす必要性、②身体障害のある方へのハード的課題(更衣室、浴室の狭隘さ)、③環境的課題(電車騒音：防音対策)等、明確となった課題の改善について検討していく。

6. 地域生活総合支援センター〈共同生活援助事業〉

(1) 概要

- 利用者・家族の高齢化に伴い週末を自宅で過ごすことが困難な方が増加しているなかで、家族から週末利用の要望があった場合はこれに対応したが、365日運営をめざした第9つながりの家については、週末の従事体制が整わず部分的な週末運営に留まった。
- 医療機関への通院を要する状況が増加し、通院等介助サービスだけでは対応できない通院についてグループホームで対応するケースが増加した。
- 4月より第10つながりの家に新規利用者が入居し、全グループホーム（9カ所）で定員に達した。
- 利用者の個別支援計画書に係る所定の手続きが適切に行えていないことが判明し、改めて個別支援計画書を作成し所定の手続きに基づく対応を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上に向けた取り組み	○計画的な祝前日・祝日の運営や入居者・家族からの運営日以外の利用希望にも対応したが、利用率は前年度並みに止まった(79.2%⇒79.1%)。 ○第10つながりの家の欠員補充により、全体で前年度比延べ利用者数が約400人増加した。
2	GH将来構想の検討	○地域生活拠点施設への視察を通じて検討を行ったが、将来構想の立案までには至らなかった。
3	入居者の高齢化・重度化への対応	○365日運営化をめざした第9つながりの家については、職員の従事体制が整わず部分的な週末運営となった。 ○計画相談事業所等の関係機関との連携を図り、通院等介助などの各種サービス利用の調整・対応を行った。
4	消防法への対応	○消防署の消防法施行令の解釈誤りにより、新たに4箇所のグループホームがスプリンクラー設置対象ホームとされたため、設置費用の見積もりを取り直すなど整備に向けた検討・対応を行った。
5	余暇支援の充実	○ヘルプステーション「ウイズ」や他の移動支援事業所と連携を図り、利用者の希望に応じた外出機会の増加を図り、移動支援提供時間が前年度比約440時間増加した。
6	人員確保・育成	○引き続き、職員・登録ヘルパーが短期入所室及びグループホームの両事業に勤務する体制を継続し、効率的な運営に努めた。 ○十分な世話人(男性)・登録ヘルパー(男性)の確保は出来ず、安定的な従事体制の確保には至らなかった。 ○世話人会議において、個々の世話人が障害特性等について調べてきた内容を共有する機会を設けるなど、支援スキルの向上に努めた。

計 画		実施結果
7	サビ管と世話人の連携強化	○世話人とサビ管は利用者の状況をメールで日々報告・連絡を行い、困難ケースについては計画相談担当事業所等の関係機関とともにその対応策を検討した。

(3) 今後について

- 家族の高齢化に伴う対応として、帰宅時の介護負担が増加している第9つながりの家において、365日運営に向けた支援体制等の整備を行っていくとともに、GHの将来構想を検討していく。
- 自動火災通報装置や消防機関へ通報する火災報知設備を連動させる等の整備が必要なグループホームにおいて、平成30年3月末までの整備に向けて、消防署とも協議しながら対応していく。
- 個別支援計画書に係る手続きを確実に進め、再発防止策に基づく対応を確実にやっていく。

(4) 在籍者状況（平成29年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
平成28年度	36名	45.1才	79.1%	28.5人
平成27年度	35名	44.1才	79.2%	27.3人

平成28年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	3名	14名	9名	6名	4名	0名

6. 地域生活総合支援センター〈短期入所・日中一時支援事業〉

(1) 概要

- 短期入所については、積極的に体験利用の斡旋調整を行い、1日あたりの宿泊者数及び延べ利用者数は前年度より大幅に増加し、介護給付費収入も前年度比約300万円の増収となった。
- 日中一時支援については、通所サービス利用後から家族が帰宅されるまでの間の利用者が前年度に引き続いて増加し、前年度比約1.3倍の利用者数となった。
- 利用者アンケートを実施し、アンケートで寄せられた「余暇時間を楽しく過ごせる備品の整備をして欲しい」との要望を受けて、タブレット等の備品の整備を検討した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

計 画		実施結果
1	利用者支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の勤務について、日勤時に遅出・早出勤務等を行うことにより、支援度が高い時間帯に応じた従事体制を取って対応した。 ○職員1名が喀痰吸引等研修を受講した。 ○箕面市との収支差補助額根拠の整理には至らなかった。
2	利用者ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者アンケートを実施し、アンケート結果に基づき、利用者が余暇時間に使用できるタブレットなどの備品の整備を検討した。
3	余暇の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○職員従事体制に応じて、土曜日と日曜日の日中に手芸やパズルなどの活動を提供した。
4	医療的ケアの必要な方の試行的受入	<ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度に引き続き、ささゆり園生活介護事業と協働して、医療的ケア対応の試行的ショートステイを対象者2名に各1泊2日で実施した。
5	人員確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○男性職員の欠員状態が継続し、他部門職員の応援勤務等で一部対応した。 ○人権研修・虐待防止研修・権利擁護研修、対人援助専門講座などの研修会に参加した。

(3) 今後について

- 「喀痰吸引等事業所登録」の体制整備を進めるとともに、ささゆり園、あかつき園・ワークセンターささゆりとの連携を図り、当該利用者の受け入れを推進していく。
- 箕面市との収支差補助にかかるルール化等について、検討・協議を進めていく。
- 利用者増加の取り組みと合わせて、登録ヘルパーの確保・育成に組み込み、安定的な従事体制を確立していく。

(4) ショートステイ室利用状況

	平成27年度	平成28年度	対前年度比
1日あたり宿泊者数	4.41名	5.05名	114.5%
延べ利用者数 (1日平均)	2,972名 (8.1名)	3,225名 (8.8名)	108.6%
短期入所 延べ利用者数 (1日平均)	2,821名 (7.7名)	3,029名 (8.3名)	107.3%
日中一時 延べ利用者数 (1日平均)	151名 (0.4名)	196名 (0.5名)	130.0%

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 居宅介護については、前年度比で通院等介助等への派遣時間が微減となったが、同行援護の派遣状況が大幅に増加したため、全体での派遣時間は微増した。
- 移動支援については、グループホーム利用者の土日利用の増加に伴い、余暇支援の充実を図るため移動支援の利用を促進したことなど、派遣時間が前年度比約800時間、大幅に増加した。
- 登録ヘルパーの確保に向けて年間を通じて募集活動を行ったが、十分な確保には至らず、引き続きサービス提供責任者が介護・支援に従事する状況が継続した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	グループホームにおける余暇支援の充実 (移動支援の拡大)	○グループホーム利用者に対する移動支援の利用促進を行い、移動支援の派遣時間が前年度比延べ約440時間の増加(グループホーム利用者分のみ)となった。
2	グループホームにおける居宅介護・通院等介助の充実	○引き続き、グループホーム担当者や計画相談担当者との連携のもと、必要な居宅介護・通院等介助のサービス提供を行った。
3	グループホームにおける居宅介護サービス派遣に関する法改正対応	○法改正対応に関わって、サービス提供責任者が同行援護に係る資格取得のため、所定講習の受講手続きを行った。
4	通院等介助対応の見直し	○行動障害等を伴う利用者に対応出来る従事者の拡大に向けて登録ヘルパーの確保・育成に努めたが、確保には至らず、引き続きサービス提供責任者が従事する状況が継続した。
5	有資格従事者の確保	○新たな新規登録者は数名に止まった。 ○人材確保にあたっては、求人チラシの配布での求人などを行ったが、登録ヘルパーの不足(特に男性)状況が継続した。 ○登録ヘルパー向けに、消防署による救急救命講習、障害当事者による「当事者の主体性」をテーマにした研修会を開催した。

(3) 今後について

- 引き続き、計画相談担当者と連携した居宅介護・移動支援サービスの充実・拡大に取り組んでいく。
- 求人方法等の見直しを行いながら、より多くの従事者の確保に向けて取り組んでいく。
- 従事者の質的向上を図るため、引き続きヘルパー研修の充実を図り、多様な障害状況への対応が可能な従事者の育成を行っていく。

(4) ヘルパー派遣状況 (平成29年3月31日現在)

単位：時間

	居宅介護				移動支援	
	通院等介助		同行援護	身体介護	I類	II類
	(身体介護あり)	(身体介護なし)			(身体介護あり)	(身体介護なし)
平成28年度	225.5	52.0	372.5	1,769.5	1,451.5	1389.5
平成27年度	251.0	47.0	279.0	1,803.0	1,148.0	866.5

6. 地域生活総合支援センター〈相談支援事業〉

(1) 概要

- 福祉サービス利用に係る相談を中心に、633件の相談に対応した(前年度比約50件増)。
- 計画相談への対応においては、新規利用者の受け入れを制限し以前からの契約待機者対応を優先して進め、以前からの契約待機者の計画作成は全て完了した。
- 困難事例への対応にあたっては、内部のケース検討会での検討、関係機関との連携を図り対応した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	新規計画相談への対応	○生活全般にわたるサービス調整業務等が増加したこともあり、新規利用者の受け入れを制限し以前からの契約待機者対応を優先して進め、以前からの契約待機者の計画作成は全て完了した。
2	相談支援の質的向上	○内部ケース検討会や各サービス提供機関・相談支援事業所・行政機関との連携に取り組んだ。 ○箕面市障害者自立支援協議会(相談支援部会/権利擁護部会)に参画し、他相談支援事業所等の関係機関と情報交換を行った。
3	相談支援専門員の育成	○高次脳機能障害に係る外部研修会に参加し、障害特性に対する知識の習得を行った。 ○相談支援専門員資格に係る「初任者研修」「現任者研修」は多くの正規職員が受講済みのため、受講した職員はいなかった。
4	困難事例への対応	○家庭やサービス提供事業者等の関係機関と連携し、安定した生活に繋げるための障害福祉サービスの斡旋・調整を行った。

(3) 今後について

- 平成29年度は基幹相談・委託相談・計画相談それぞれの役割・機能を明確化していくこととなり、委託相談・計画相談を実施しているウイズにおける両相談の役割・機能を適切に果たせるよう対応していく。
- 新たな計画相談にも対応していけるよう、職員従事体制の整備・充実に取り組んでいく。

(4) 相談状況（平成29年3月31日現在）

①経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	3(0)	39(0)	212(0)	0(0)	254(0)
来所	1(0)	16(0)	43(0)	1(0)	61(0)
同行	2(0)	1(0)	20(0)	0(0)	23(0)
電話	4(0)	48(0)	151(1)	0(0)	203(1)
電子メール	2(0)	38(0)	12(0)	0(0)	52(0)
個別支援会議	0(0)	0(0)	16(0)	0(0)	16(0)
関係機関	0(0)	3(0)	2(0)	0(0)	5(0)
その他	0(0)	0(0)	19(0)	0(0)	19(0)
合計	12(0)	145(0)	475(1)	1(0)	633(1)

※括弧内は児童の相談件数

②内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	5(0)	139(0)	362(1)	1(0)	507(1)
健康・医療	2(0)	3(0)	42(0)	0(0)	47(0)
不安解消・情緒安定	0(0)	0(0)	23(0)	0(0)	23(0)
家族関係・人間関係	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
家計・経済	5(0)	1(0)	6(0)	0(0)	12(0)
生活技術	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
就労	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
社会参加・余暇活動	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)
権利擁護	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
障害や病状の理解に関する支援	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)
その他	0(0)	2(0)	35(0)	0(0)	37(0)
合計	12(0)	145(0)	475(1)	1(0)	633(1)

※括弧内は児童の相談件数

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

平成28年度、苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	あかつき園・ワークセンター ささゆり	4件	内容 水分補給忘れ・与薬忘れ・誤食 原因 利用者の状態把握不足、確認・安全配慮不足	安全配慮の徹底 与薬確認の徹底 水分摂取確認の徹底
	わんすてつぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (ショートステイ)	6件	内容 与薬忘れ 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計件数		10件		

怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	23件	内容 打撲・打身・出血・やけど 原因 職員の不注意、環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてつぷ	2件	内容 打撲 原因 安全配慮不足 利用者の機能低下	安全配慮の徹底
	ささゆり園 (生活介護)	1件	内容 裂傷 原因 *不明	安全配慮の徹底
	地域生活総合支援センター (ショートステイ)	2件	内容 打撲・擦過傷 原因 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底
合計件数		28件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	17件 (うち、職員に対するもの8件)	内容 噛みつき・殴打・引っ掻き等 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 利用者の心的状態を適切に把握 安全環境の整備 行動障害に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (ショートステイ)	2件	内容 抓る・物投げ 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 利用者の心的状態を適切に把握
合計件数		19件		

自傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	0件		
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		0件		

器物損壊	あかつき園・ワークセンター ささゆり	6件	内容 備品・設備の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	適切な情報提供 環境整備 利用者の心的状態を適切に把握
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (グループホーム)	2件	内容 備品の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	環境整備 利用者の心的状態を適切に把握
合計件数		8件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出	あかつき園・ワークセンター ささゆり	2件	内容 一時的な所在不明 原因 利用者の状態把握不足(所外活動時)	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底
	わんすてつぷ	2件	内容 一時的な所外への無断外出 原因 利用者の状態把握不足 精神的不調	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (ショートステイ)	5件	内容 一時的な所外への無断外出 原因 利用者の状態把握不足 精神的不調	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底 環境整備
合計件数		9件		

車両事故	あかつき園・ワークセンター ささゆり	2件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	わんすてつぷ	1件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (ショートステイ)	3件	内容 車両接触、対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
合計件数		6件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり) ・送迎乗降時の運行支障 4件 ・閉じこもり・活動不参加 2件 ・靴の履き間違い 1件 ・他利用者の車椅子への衝突 1件 (わんすてつぷ) ・送迎乗降時の運行支障 1件 (ささゆり園) ・人工呼吸器の不具合 1件 ・誤送迎 1件
-----	--

② 苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ワークセンターささゆり	2件	送迎時の連絡誤りに関するもの	連絡誤り	状況の説明
		送迎乗降場所に関するもの	近隣住民への説明・確認不足	送迎乗降場所の変更
わんすてっぶ	2件	送迎到着時間に関するもの	家族との情報共有不足	状況の説明
		送迎時の運転に関するもの	丁寧さに欠ける運転	当該運転手への指導 座席の変更
ささゆり園	1件	送迎乗降場所に関するもの	近隣住民への説明・確認不足	状況の説明
地域生活総合支援センター	2件	服薬忘れに関するもの	与薬管理不足	与薬管理の徹底
合計件数	7件			

③ ヒヤリハット

部署	件数	内容
あかつき園・ワークセンターささゆり	17件	* 与薬忘れに至る恐れがあった事案 1件
		* 無断外出・所在不明に至る恐れがあった事案 6件
		* 他傷行為・器物破損等に至る恐れがあった事案 1件
		* 転倒する恐れがあった事案 2件
		* 怪我する恐れがあった事案 1件
		* 利用者支援に支障を来す恐れがあった事案 6件
わんすてっぶ	13件	* 無断外出・所在不明に至る恐れがあった事案 7件
		* 市民への迷惑行為に至る恐れがあった事案 1件
		* 他傷行為・器物破損等に至る恐れがあった事案 1件
		* 利用者支援に支障を来す恐れがあった事案 4件
ささゆり園	4件	* 入浴介護中に転倒をきたす恐れがあった事案 1件
		* 誤薬に至る恐れがあった事案 1件
		* 怪我する恐れがあった事案 1件
		* 転倒する恐れがあった事案 1件
地域生活総合支援センター	0件	
合計件数	34件	

8. 地域参加・交流状況

(1) 納涼祭 (主催：あかつき福祉会)

実施日： 8月19日 (金)
実施場所： 瀬川地区敷地内
参加者数： 約400名
協力団体： 8団体
利用者参加者： 44名
職員従事者： 50名
内容： 盆踊り、ゲームコーナー、模擬店、抽選会など

(2) 西南ジャンボリー (主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会)

実施日： 8月29日 (土)
実施場所： 西南小学校グラウンド
体験者数： 約180名
実行委員会： 6回実施
職員従事者： 5名
内容： 車いす体験コーナー

(3) いきいきふれあい広場 (主催：西南小地区福祉会)

実施日： 10月29日 (土)
実施場所： 西南公民館
利用者参加者： 2名
職員従事者： 5名
内容： 野菜、さをり製品等の販売

(4) 第2回みのおつながるフェア (主催：箕面市自立支援協議会、第2回みのおつながるフェア実行委員会)

実施日： 3月12日 (日)
実施場所： 箕面市総合保健福祉センター
利用者参加者： 1名
職員従事者： 4名
内容： 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆりの施設紹介・作品販売、ウイズの相談支援

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者数	講師
平成28年10月30日	コミュニケーション研修 ※正規職員対象	11名	けあ人財アカデミー合同会社 垣内 イズズ氏
平成28年11月11日	罪を犯した障がい者の支援 と課題	107名	大阪手をつなぐ育成会 支援センター い～な 原田和明氏
	合計	118名	

(2) 事業・施設別研修参加状況

	平成27年度	平成28年度
法人本部	4名 (4件)	4名 (4件)
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	76名 (26件)	84名 (45件)
わんすてっぷ	7名 (7件)	2名 (2件)
ささゆり園	293名 (52件)	325名 (57件)
地域生活総合支援センター	23名 (12件)	67名 (13件)
合計	403名 (101件)	482名 (121件)

	研修内容
法人本部	改正社会福祉法対応セミナー、決算実務研修会など
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	職場におけるメンタルヘルス対策(管理者対象)研修、部下指導と育成研修、ホワイトボードミーティング(基礎編・実践編)研修、なぜなぜ分析研修、レクリエーション研修、新任職員研修(虐待ゼロを目指して)、OJTリーダー養成研修、こころの鍛え方研修、リスクマネジメント(管理者対象・現場職員対象)研修、福祉職員研修(中堅職員・施設長等運営管理職員)、福祉人材確保・定着セミナー、強度行動障害支援リーダー養成研修(連続講座)、対人援助専門職研修、タイムマネジメント研修、自閉症スペクトラム公開講座、アンガーマネジメント研修、てんかん基礎講座、集団指導者養成研修(声かけの仕方、福祉のプロになる)、機関研修会(困難ケースと刑事司法・発達障がい者へのこだわり理解と支援)、障がい児者施設課程研修、食中毒予防講習会、高血圧予防講習会、栄養ケア事業研修会、要約力強化研修など
わんすてっぷ	こころの鍛え方研修、アンガーマネジメント研修
ささゆり園	高次脳機能障害基礎研修、「障害者差別解消法」を考える研修、サービスマナーセミナー中級、てんかん基礎講座、虐待防止研修、人権研修、ポジショニング研修、みのお人権フォーラム、感染症等予防研修、箕面市障害者事業団連続講座、労務管理研修、早期療育研修、喀痰吸引等研修など
地域生活総合支援 センター	スーパーバイザー養成基礎研修、サービスマナーセミナー初級、サービスマナーセミナー中級、障がい児者施設課程、喀痰吸引等研修、全国グループホーム等研修、対人援助専門講座、施設階層別人権研修、大阪府相談支援従事者専門コース別研修(高次脳機能障がい支援コース)、障がい者虐待防止・権利擁護研修、箕面市人権セミナー、ヘルパー研修(救急救命講習、当事者の主体性)など

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	4名	8名	8日	支援学校卒業後の進路先を 検討するため
	合 計	4名	8名	8日	

(2) その他

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面市	2名	4名	4日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保育 専門学校	2名	2名	2日	介護等体験実習
	関西保育福祉専門 学校	1名	12名	12日	介護等体験実習
	日本メディカル福 祉専門学校	1名	20名	20日	福祉体験実習
	相愛大学	1名	5名	5日	介護等体験実習
	立命館大学	2名	10名	10日	介護等体験実習
	イメージラボ	1名	7名	7日	職場体験研修
わんすてっぷ	箕面市	4名	8名	8日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保育 専門学校	2名	2名	2日	介護等体験実習
ささゆり園	箕面市	6名	12名	13日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保 育専門学校	1名	2名	2日	資格取得実習
	関西学院大学 (大学院)	1名	1名	1日	福祉体験実習
	箕面市立第5中 学校	1名	3名	3日	職場体験学習
	箕面市障害者事 業団	1名	1名	1日	職員研修
	箕面市社会福祉 協議会	1名	2名	2日	喀痰吸引等実地研修
	ハローワーク	1名	1名	1日	職場体験
合 計		28名	92名	93日	

11. ボランティア受入状況

事業・施設名	参加内容	参加回数	延べ参加者
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	日中活動	133回	385名
	所外活動・イベント	11回	37名
わんすてっぷ	日中活動	10回	10名
	所外活動・イベント	5回	33名
ささゆり園	イベント	5回	61名
	合 計	164回	526名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面市立西南小学校	141名	施設見学
	箕面支援学校	14名	施設見学
	箕面市進路保障協議会	8名	施設見学
	箕面市民生委員児童委員協議会	23名	施設見学
わんすてっぷ	関西福祉専門学校	1名	施設見学
ささゆり園	島根大学	1名	施設見学
	箕面保育園	20名	施設見学
	箕面市立南小学校	84名	施設見学
	箕面市民	2名	施設見学
	合 計	294名	

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	見学・視察先	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	豊泉家チャレンジドセンター箕面	7名	施設見学
ささゆり園	安倉西身体障害者支援センター	1名	施設見学
	豊泉家チャレンジドセンター箕面	2名	施設見学
	くらしの支援センターみんなのき	3名	施設見学
	淡路島等	12名	旅行下見
	豊中市立たちばな園	3名	指定管理説明会
地域生活総合支援 センター	安倉西身体障害者支援センター	1名	施設見学
	くらしの支援センターみんなのき	2名	施設見学
	合 計	31名	

13. 講師派遣状況

派遣先	件名	派遣講師
箕面市肢体不自由児者父母の会	夏期レクリエーション ボランティア講習会	小山 健
大阪府障がい者自立相談支援 センター	相談支援従事者専門コース 別研修 -指導者養成・ファ シリテーションコース-	小林 竜也
大阪府社会福祉協議会	障害者の虐待防止を考える (差別解消法の観点から)	加藤 隆之
	障がい児者施設課程 (管理者クラス)	

14. 役員名簿

(1) 理事

平成29年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	永田 吉治	箕面ライオンズクラブ	会員	地域の福祉関係者
副理事長	千馬 外代美	箕面市肢体不自由児者父母の会	副会長	地域の福祉関係者
理事	石黒 恵津子	箕面手をつなぐ親の会	幹事	地域の福祉関係者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	地域の福祉関係者
理事	山内 照和	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	地域の福祉関係者
理事	小山 隆	同志社大学社会学部	教授	学識経験者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		学識経験者
理事	林 たかみ	箕面ロータリークラブ	理事	地域の福祉関係者
理事	羽藤 隆	箕面市身体障害者福祉会	副会長	地域の福祉関係者
理事	村田 尚記	箕面市健康福祉部	副部長	行政関係者
理事	亀谷 雅彦	社会福祉法人あかつき福祉会 地域生活総合支援センター	所長	施設長

(2) 監事

平成29年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	地域の福祉関係者
監事	斉藤 堅造	箕面市会計室	会計管理者	行政関係者

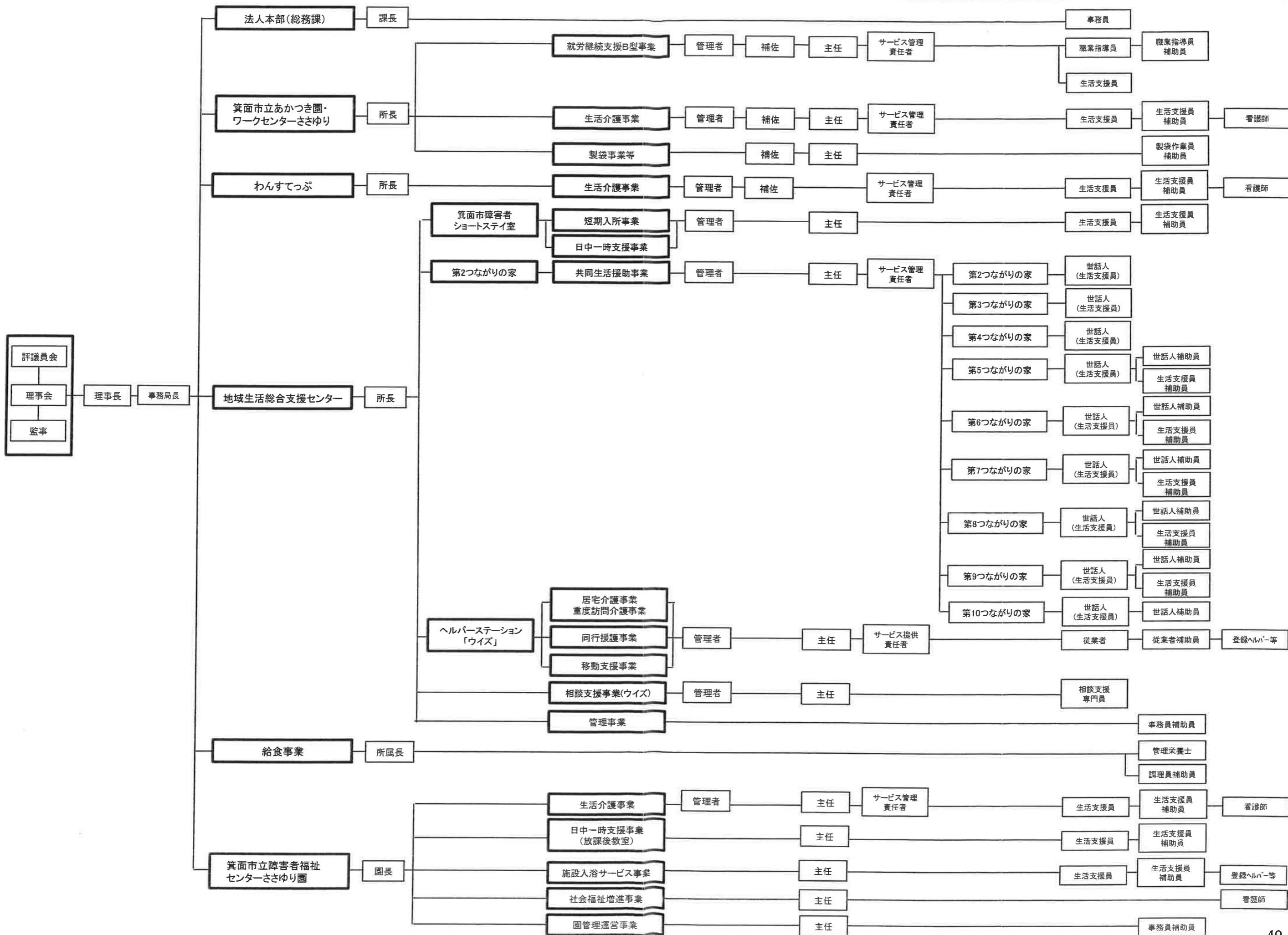
(3) 評議員

平成29年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	尾崎 雅通	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	事務局長	地域の福祉関係者
評議員	甲斐 節男	西南小地区福祉会	会長	地域の福祉関係者
評議員	永田 幸美	箕面市民生委員児童委員協議会	地区委員長	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	事務局次長	地域の福祉関係者
評議員	久代 美津恵	箕面市身体障害者福祉会	副会長	地域の福祉関係者
評議員	柴田 京子	箕面手をつなぐ親の会	副会長	地域の福祉関係者
評議員	高橋 栄子	箕面市肢体不自由児者父母の会	監査	地域の福祉関係者
評議員	羽田 浩朗	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム白鳥荘	施設長	地域の福祉関係者
評議員	坂浦 真司	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	副所長	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人 息吹	理事長	地域の福祉関係者
評議員	前田 建司	箕面ロータリークラブ	会長	地域の福祉関係者
評議員	爲永 順子	箕面商工会議所	副会頭	地域の福祉関係者
評議員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	会長	地域の福祉関係者
評議員	多田 育雄	NPO法人箕面ラポール	監事	地域の福祉関係者
評議員	後藤 統雄	箕面市赤十字奉仕団	常任理事	地域の福祉関係者
評議員	笥 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	地域の福祉関係者
評議員	村西 啓二	大阪府立箕面支援学校	教諭	学識経験者
評議員	浅岡 建三	浅岡・瀧法律会計事務所	弁護士	学識経験者
評議員	阪上 義峰	箕面市健康福祉部障害福祉課	課長	行政関係
評議員	柴田 大	箕面市人権文化部人権施策課	課長	行政関係
評議員	井澤 恵美	箕面市教育委員会事務局子ども未来創造局子どもすこやか室 総合保健福祉センター分室	分室長	行政関係
評議員	加藤 隆之	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立障害者福祉センターささゆり園	園長	地域の福祉関係者
評議員	古川 伸吾	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立障害者自立支援センター (箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり)	所長	地域の福祉関係者

15. 平成28(2016)年度組織図

平成29年3月31日現在



16. 平成28(2016)年度職員内訳

平成29年3月31日現在

部局名	正規職員	支援職員	臨時職員	合計
法人本部	3名	4名	0名	7名
あかつき園・ワークセンターささゆり	9名	15名	37名	61名
わんすてっぷ	1名	2名	3名	6名
障害者福祉センターささゆり園	3名	6名	19名	28名
地域生活総合支援センター	2名	18名	14名	34名
厨房	0名	1名	6名	7名
合計	18名	46名	80名	143名

注1) 法人本部の支援職員には、障害者職員を含む

注2) あかつき園・ワークセンターささゆりには、製袋担当職員を含む

注3) 厨房の支援職員は、障害者職員を含む

注4) 臨時職員数には、バス添乗等の短時間勤務職員を含む

注5) その他、登録ヘルパー約20名(実質稼働者数)